

26630-1232

平成23年8月29日

様

宮崎県農政水産部  
畜産・口蹄疫復興対策局  
畜産課家畜防疫対策室長

### 管理獣医師の診療状況に係る調査について

が平成23年1月13日付けで提出した事実確認書において、経営するで、平成22年4月17日に風邪症状を示す牛が農場全体で発生したため、貴職に電話で相談したところ、抗生物質の投与の指示があったことから、飼養牛全頭に抗生物質を投与したと報告されております。

また、同年4月23日付けで貴職から提出のあった事実確認書においても、電話にて牛の状況を聞き取り投薬指示することがあったと報告されております。

これらの内容について、さらに詳細に確認する必要がありますので、平成23年9月12日（月）までに、下記の事項について回答してください。

根拠となる記録・資料等がある場合には、併せて提出してください。

### 記

1 平成22年3月30日の風邪の症状、4月8日の食欲不振の症状、4月9日の食欲不振改善薬の投与、その後の病牛の増加等、の牛に異常が生じてから、4月17日に抗生物質の投与指示を行うまでの診療内容の時系列での把握状況。具体的には、各時点における牛の臨床症状とその変化、牛群内での病牛の増加状況について、どう把握・認識し、どのような指示を行ったのかを分かるように、以下の（1）～（4）の事項について回答してください。

- (1) 4月9日に食欲不振改善薬の投与指示を行った際の診断及び指示内容（投与対象牛、頭数、投与量等）
- (2) 4月9日までに風邪及び食欲不振の症状を示す牛が発生していたにもかかわらず、直接対面での診察を行わず、（1）の診断ができた根拠。
- (3) 4月17日に抗生物質の投与指示を行った際の診断及び指示内容（投与対象牛、頭数、投与量等）

- (4) 4月17日までに食欲不振と風邪の症状を示す牛が急増し、農場全体に広がったにもかかわらず、直接対面での診察を行わず、(3)の診断ができた根拠。
- 2 過去に牛群全体に抗生物質を投与するような状況等、同様の状況があったかどうか。
- 3 平成22年4月以前の約5か月間( [REDACTED] で診察を行っていなかった期間)における [REDACTED] の牛の移動(転入、転出、死亡等)。
- 4 担当していた全ての農場において、その都度牛に直接対面して診察を行わずに要指示医薬品の投与を指示した実績と投与対象牛の転帰。
- 5 4の要指示医薬品の投与の指示の際にその都度直接対面して診察を行わなかった牛について、それ以前に直接対面による診察をおこなっていたかどうか。
- 6 複数農場の相当数の牛について、牛の健康状態を把握していると判断した根拠。

担当	防疫担当	丸本
電話	0985-26-7139(直通)	
FAX	0985-26-7329	